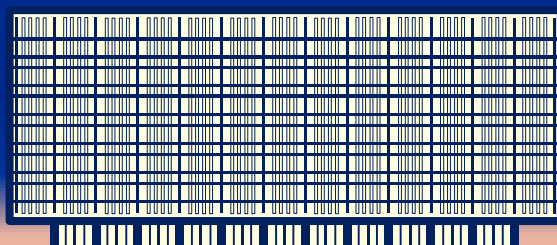




愛される公共建築を

守り・支える



国土交通省 中国地方整備局

官庁営繕業務紹介

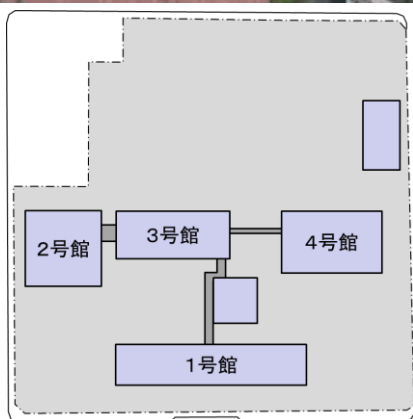
国家公務員一般職
(建築・電気・機械)



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau, Government Buildings Department



広島合同庁舎
Hiroshima Government Building
(広島県)



広島合同庁舎は1号館から4号館までの4つの建物から構成され、中国地方整備局をはじめとする約30の国等の官署が入居する大規模な官庁エリアとなっています。
災害発生時には災害応急対策活動の拠点として重要な機能を担います。

1号館と2号館では、災害応急対策活動を行ううえで必要な耐震性能を確保するため、地下階部分の中間階に免震装置を設置する耐震改修工事を実施しました。



出典：国土地理院

広島合同庁舎の周辺には、広島県庁、広島法務総合庁舎、広島高等裁判所・地方裁判所など、多くの行政機関が立地しています。

広島合同庁舎に入居している官署

広島合同庁舎には、各省庁のブロック機関が入居しています。

人事院
人事院事務局

内閣府
公正取引委員会事務所
支所、管区警察局

総務省
行政評価局

法務省
矯正管区、法務局

財務省
財務局、国税局

厚生労働省
地方厚生局、労働局、
労働基準監督署

農林水産省
中国四国農政局広島県
拠点

経済産業省
経済産業局、産業保安
監督部

国土交通省
地方整備局、運輸局、
地方測量部、地方気象
台

環境省
地方環境事務所（広島
事務所）

防衛省
防衛局、自衛隊地方協
力本部



海上保安大学校
Japan Coast Guard Academy
(広島県)



煉瓦ホール



国際交流センター 全景

海上保安大学校は、将来海上保安庁の幹部となる職員を養成するための教育・訓練などを実施する機関です。

中国地方整備局では、これまで、海上保安大学校の一連の施設整備を実施してきました。

煉瓦ホール（大正3年建設の旧火工場機械室）については、耐震補強のうえ建設当時の意匠を保存・復原しており、平成29年には「日本遺産」の構成文化財に認定されました。

海上保安大学校では、アジア諸国の海上保安機関の能力向上支援のため研修実施体制の強化を図ることとしており、新たに実施する研修や宿泊に対応するため、大学校の構内に国際交流センターを整備しました（平成30年度～令和元年度）。



国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

Hiroshima National Peace Memorial Hall for the Atomic Bomb Victims
(平成13年度完成、広島県)

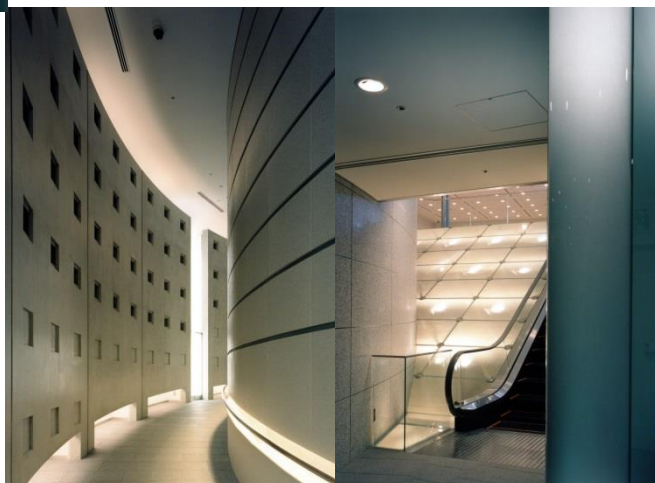


国立広島原爆死没者追悼平和祈念館は「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律(平成6年法律第117号)」に基づいて建設され、「平和祈念・死没者追悼」及び「被爆関連資料・情報の収集及び利用」の機能を担っています。

本施設は平和記念公園の中に建設されており、慰霊碑周辺の景観に配慮し、かつ、公園全体の雰囲気との調和を図るため、施設のほとんどの部分を地中化しています。



出典：国土地理院





呉地方合同庁舎
Kure Government Building
(平成25年度完成、広島県)



呉地方合同庁舎は、広島県呉市の中心部に位置し、法務支局、財務局出張所、税務署、労働基準監督署及び検察支部・区検察庁の合計5官署が入居しています。

軍港・鎮守府が置かれた街の歴史を感じさせるとともに都市景観に調和したレンガ調タイルを基調とした外観、桜並木の保存と緑化による「潤い」の創出及び来庁者を迎え入れる開放的なアプローチ空間により、親しみのあるデザインとしています。

また、呉市の気候特性である海風・陸風を取り込む方角に窓を設け、階段の煙突効果を利用した自然換気の促進による空調負荷の低減を図り、環境に配慮した庁舎となっています。



廿日市地方合同庁舎 (平成20年度完成、広島県)



松江地方合同庁舎 (平成15年度完成、島根県)



広島港湾合同庁舎
(昭和44年度完成、平成26年度耐震改修、広島県)



下関地方合同庁舎
(昭和53年度完成、平成28年度耐震改修、山口県)



岡山法務総合庁舎 (平成25年度完成、岡山県)



広島法務総合庁舎 (平成23年度完成、広島県)



岡山運輸支局 (平成26年度完成、岡山県)



西条税務署 (平成23年度完成、広島県)



府中区検察庁 (平成22年度完成、広島県)



岡山労働基準監督署 (平成16年度完成、岡山県)



美保航空基地 (平成22年度完成、鳥取県)



水産大学校講義棟 (平成19年度完成、山口県)

官庁営繕の災害対応

災害発生時、営繕部では各省各庁に対して、被災した官庁施設の継続使用の可否や応急措置の要否等の判断にかかる技術的支援を実施しています。

・緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）による対応

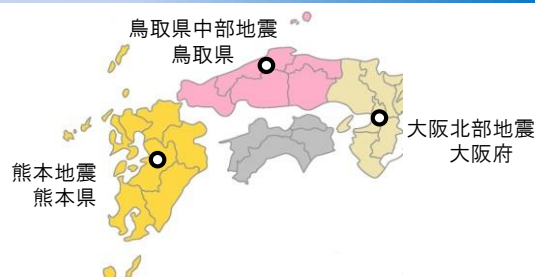
大阪北部地震（平成30年6月）

平成30年6月に大阪府北部を震源とする最大震度6弱の地震が発生しました。

発災後、営繕部から先遣隊として2名の緊急災害対策派遣隊を派遣し、発災から1週間後に、応急危険度判定（※）を行う被災状況調査班として3名を派遣しました。

建築分野のニーズの把握や、茨木市庁舎の被災状況調査や市内の小中学校12校のブロック塀の調査を実施しました。

※大地震により被災した建築物を調査し、その後に発生する余震などによる倒壊の危険性や外壁・窓ガラスの落下、付属設備の転倒などの危険性を判定すること。



ブロック塀の危険性の調査



ブロック塀のひび割れ計測



被災状況調査結果の報告

鳥取県中部地震（平成28年10月）

平成28年10月に発生した、鳥取県中部を震源とする最大深度6弱の地震では、営繕部から7名の緊急災害対策派遣隊を派遣し、学校などの公共建築物について応急危険度判定を行いました。



公共施設の被災状況調査



応急危険度判定を行う隊員



被災状況調査結果の報告

熊本地震（平成28年4月）

平成28年4月に発生した、熊本地方を震源とする最大震度7の地震では、営繕部から8名の緊急災害対策派遣隊を派遣し、合計154件の被災建築物について応急危険度判定を行いました。



被災状況調査の様子



応急危険度判定を行う隊員



被災状況調査の様子

国土交通省の「官庁営繕」とは

国土交通省は、「官公庁施設の建設等に関する法律」（昭和26年法律第181号）に基づき、各省各庁の事務庁舎等、国家機関の建築物（官庁施設）の整備に関する業務を行っています。また、国民の共有財産である官庁施設について、行政サービスを提供する場として、災害を防除し、公衆の利便と公務の能率増進を図るため、必要な機能や性能を確保できるよう、各省各庁に対し指導及び監督を行っています。

※「営繕」とは、建築物の新築、増築、改築、修繕、模様替等のことをいいます。

中国地方整備局営繕部の業務と役割

国土交通省中国地方整備局営繕部では、中国地方5県（鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県）を管轄区域として、日常生活に馴染みの深い、法務局、税務署、公共職業安定所（ハローワーク）等の一般庁舎や、それらの官署を集約した合同庁舎などの様々な官庁施設について、整備や指導・監督を行っています。

官庁施設の整備は、特殊な施設などを除いて、原則として国土交通省の営繕部が一元的に実施しています。営繕部は、官庁施設について企画、設計、施工（監理）、保全のライフサイクルの各段階で総合的に関与し、国家機関の建築物に関する「トータルコーディネーター」としての役割を担っています。

営繕部の技術力

営繕部の役割を果たすうえで、営繕部職員には建築に関する技術力が求められます。営繕業務は建築職、電気職、機械職の3つの専門分野に分かれており、各分野の担当者が互いに密接に連携しながら業務を行っています。

営繕業務の流れ



組織

中国地方整備局における官庁営繕の組織は、本局の営繕部と岡山営繕事務所から構成されています。

本局の営繕部は4課1室により構成されており、工事の企画・立案、設計及び監督を行っています。

保全指導・監督室は島根県、広島県及び山口県を管轄し、岡山営繕事務所は鳥取県及び岡山県を管轄し、営繕工事及び保全指導をそれぞれ所掌しています。

■ 営繕部各課

中国地方5県の工事の企画・立案、設計等を担当

■ 営繕部保全指導・監督室

島根県、広島県、山口県の営繕工事・保全指導を担当

■ 岡山営繕事務所

鳥取県、岡山県の営繕工事・保全指導を担当



所在地：広島合同庁舎2号館



所在地：岡山地方合同庁舎



ミッションとビジョン

国土交通省の官庁営繕では、「公共建築分野において常に先導的な役割を果たす」ことをミッションと位置づけて業務を行っています。

ミッション

国民の共有財産である官庁施設に関して、良質な施設及びサービスを効率的に提供し、公共建築分野において常に先導的な役割を果たす。

ビジョン

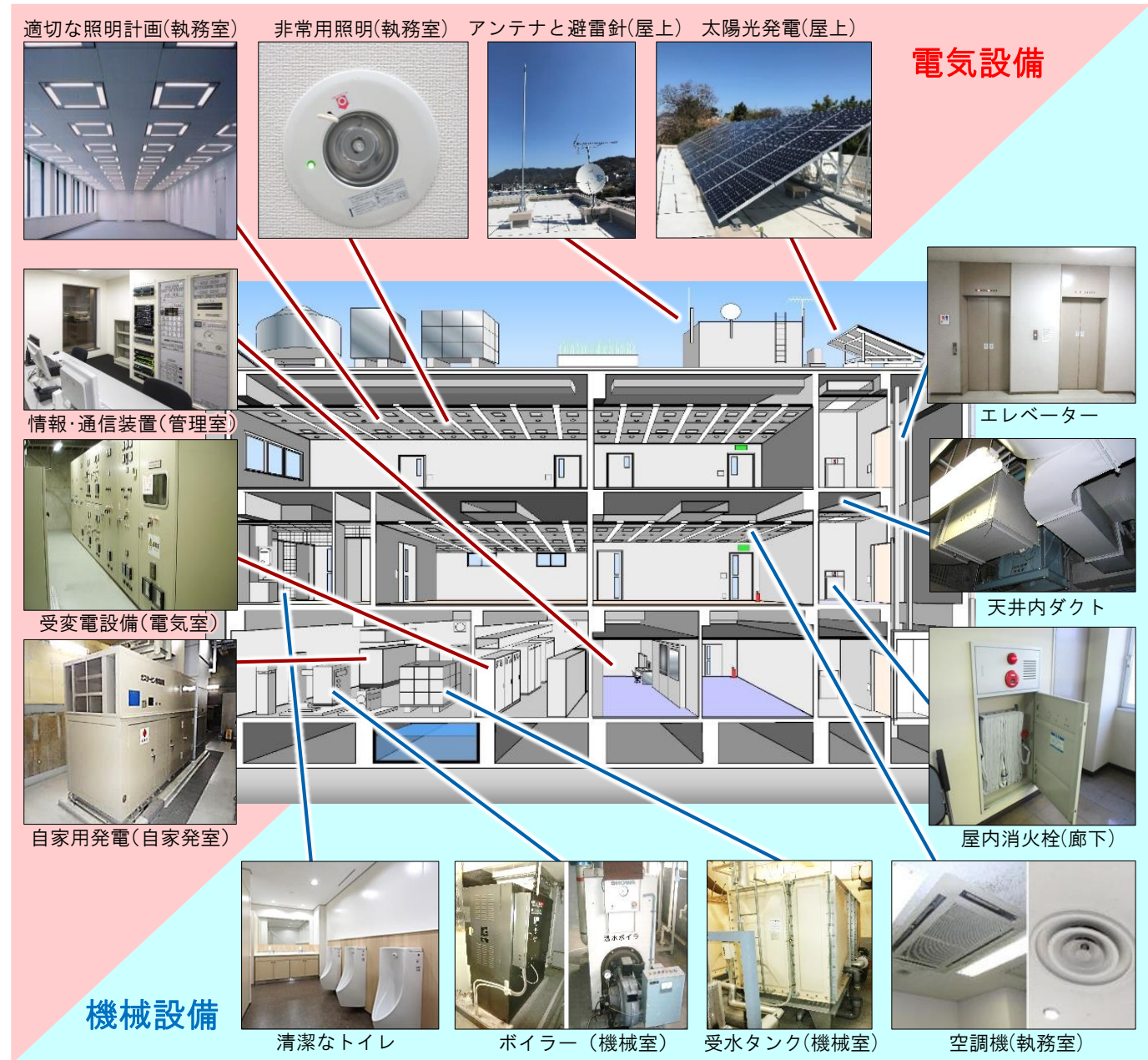
公共建築分野のリーダーとして、時代のニーズ等に的確に対応し、官庁施設に関し、成果主義の観点から顧客に提供するサービスの価値を効率的に最大化すること。そのために、組織と職員の核心的能力を高める。

地方公共団体等への支援

中国地方整備局では、管内の県及び政令市の営繕部局と定期的に営繕及び保全について情報共有や意見交換を実施することで、地方公共団体における営繕業務をサポートしています。

また、本局計画課及び岡山営繕事務所に「公共建築相談窓口」を設け、営繕に関する質問や技術的な相談を幅広く受け付けています。

営繕における「建築設備」とは



図面作成と収まり検討



設備機器を適切配置し、それらを結ぶ配管、ケーブル、ダクト等を通すルートやスペースを検討し、具体的な図面を作成します。他設備との干渉があれば必要な調整を行います。



建築設備担当の出身学科

営繕部は国家機関の建築物（官庁施設）の整備を行っています。これを聞いて「建物にも照明や空調など色々な設備が必要なことは分かっているけど、建築の知識がない私にできる仕事なのか不安」と思っているあなた。

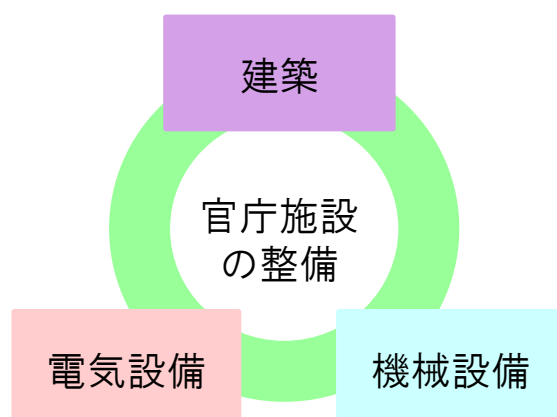
その気持ちは良くわかります。そもそも工学系の大学等で建築設備全般を教えてくれる学科はほとんど存在しません。

よって、今現在建築設備を担当している人達は、電気科、機械工学科はもとより、学科を問わず設備関係に興味を持っていることで応募し、採用後に色々教えてもらって仕事を覚えた人達がほとんどです。つまり、そんな心配はいらないということです。

建築設備の役割

いくら立派できれいな建物を作っても、その施設の目的（庁舎、学校、研究所、美術館、体育館等）や機能を果たせなくては、それはただの箱と同じです。

その施設の用途や目的に合致した建物つくるため、建築担当と協力しながら、必要な設備を実装し、ただの箱から機能する施設へと発展させることが設備担当の役割です。



地球に優しい施設を目指す

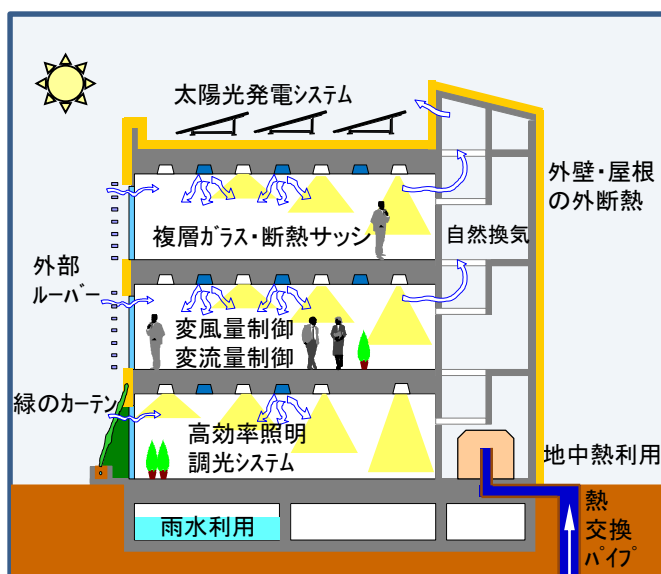
国際的な約束事項となっている地球温暖化対策への取り組みも、官庁施設整備を担当している営繕部の重要な課題の一つです。特に、新築する庁舎においては、ZEB※の実現を目指しています。

建物を新築・改修する際、建築担当は建物方位や庇・ルーバーの有無、断熱（内・外断熱、ガラス種類）、通風等を検討し、外部負荷を抑えたり熱を逃がす工夫をします。

設備担当は地球温暖化の直接原因となるCO₂排出量を下げるため、その施設の特徴（立地、用途、人員、業務内容等）を考慮し、省エネルギー・省資源となる各種設備（高効率照明、屋光制御、太陽光発電、地中熱利用、雨水利用等）の採用を検討します。

また、長年に設備性能を維持するために必要となる保守スペースの確保も設備担当の重要な検討要素の一つです。

※ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）：建築で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。（環境省HPより）



建築職



仕事内容 営繕部は公共建築分野のうち、官庁施設の整備や保全指導を担当する部署です。主な業務の流れとしては、企画、設計、施工、保全という区分があります。現在は整備課に所属し、主に設計段階の業務に従事しています。具体的には、建物の形状やスペックなどの決定、施工に必要な図面・資料等をまとめることが主な業務となり、防災・減災、老朽化対策、環境対策・木材利用等に取り組んでいます。

やりがい・魅力 営繕部の技術職には、建築職、電気職、機械職が在籍し、力を合わせて業務に取り組んでいます。私は建築職なので現在までに、構造・意匠設計、施工(工事)の監理、完成施設の保全、災害時等の応急対応など多岐の業務を経験する事ができました。専門性を伸ばす事や、色々な立場で公共建築に関わることができる職場だと思います。

メッセージ 時代の流れと共に、細かい業務内容には変化はありますが、根幹の部分は変わらず、やりがいのある仕事、職場だと思います。官庁訪問やインターンシップなど実際の業務内容を知る機会もありますので、ぜひご参加下さい。

仕事内容 国家機関の建築物の営繕工事の企画、立案、調整に関する業務を担当しています。また、施設を管理する国の様々な省庁の機関からの施設整備に関わる相談への対応なども行っています。

やりがい・魅力 営繕の仕事は、予算の要求に関する事から建物が増えた後の保全に関する事まで、内容が幅広く、勉強することが多いですが、さまざまな場面で活躍できるところが魅力だと思います。

計画担当としては合同庁舎等の建築や修繕の計画を立案し、事業が認められたときに達成感ややりがいを感じます。

メッセージ 営繕部では色々な国の建物に関わることができます。気になる方はぜひ官庁訪問やインターンシップなどに参加いただき、営繕の仕事を体験してみてください。



全国で活躍するひとたち

仕事内容 現在、九州地方整備局に在籍しています。私の主な仕事は監督職員業務なのですが、鹿兒島営繕事務所の所管エリアは、宮崎県から鹿兒島県の与論島まで南北750kmに及んでおり、昨年度は奄美島や徳之島の現場へと、オーシャン・ブルーのビーチを横目に、飛行機とバスの移動による日帰り監理に汗を流していました。また、九州地整のビックプロジェクト「鹿兒島第3合同庁舎」を担当しており、現在はⅠ期工事が完成しⅡ期工事を進めているところです。

やりがい・魅力 建築する事は、多くの人が関わる共同作業です。設計者、施工者、監理者、入居者、利用者など多くの人が関わります。あなたが如何にマネジメントしたかが、建物の姿形や品質に現れます。調整力、問題解決力、そして努力が、建物の良し悪しに関係してきます。それがこの仕事の苦しみでもあり、やりがいでもあります。

メッセージ 我々、営繕部のミッションは、公共建築分野において常に先導的な役割を果たすことです。その為にも、実社会での多様な建築経験を必要としています。大卒・院卒程度の方は30歳まで一般職試験の受験が可能です(詳しくは人事院HPを確認下さい)。あなたが、民間就職をしたとしても、就職後に気持ちが変われば、当職場をリスタートに考えてはどうでしょうか。あなたが建築好きであれば、新卒、中途に関係なく歓迎します。

仕事内容 主な業務内容は、保全業務と監督業務に分けられます。保全業務では、施設管理者に対し、建築物が完成してから取り壊されるまで、性能や機能を良好な状態に保てるようにアドバイスを行っています。監督業務では、受注者が、設計図書どおりに工事を進められているか、入居者の要望が反映されているかなどの調整役を担っています。最近では生産性向上のために様々な取組をしており、BIMの導入など新たな技術を取り入れています。ものづくりの最前線で楽しみながら仕事をしています。

やりがい・魅力 建物ができあがっていくところを間近で感じる事ができるという魅力があります。建物が完成するまでには、多くの工事関係者との調整が大変ですが、その分、完成したときの喜びややりがいを感じながら仕事ができています。

メッセージ 在宅勤務やフレックスタイム制度などその人に合った働き方ができ、ワークライフバランスが実現しやすい職場環境です。休日には職場の仲間とサッカーやマラソンなどスポーツもやっています。一緒に仕事も楽しみながらプライベートも充実させましょう！



西村 良太 (平成30年入省)
保全指導・監督室



代表的な1日のスケジュール
9:10 出勤 新聞を読む
9:15 始業
メール・スケジュールの確認
設計事務所から提出された図面の確認、設計事務所と電話
12:00 休憩、昼食 若手職員で食事
13:00 設計事務所との打合せ
工事中案件の質疑への対応
工事変更図面の作成 等
18:00 定時
18:30 退庁 散歩をしながら帰宅

胡 悠陽 (令和3年入省)
整備課

仕事内容 私は、建築意匠の設計審査を担当しています。まず、設計業務を発注するにあたり、施設利用者の要望を確認し、設計してもらう内容を企画書としてまとめます。その企画書をもとに受注した設計事務所と、企画書の内容を実現できているか、官庁施設として適合すべき基準を踏まえているか確認しながら、打合せを重ねていき、工事発注図面等の成果物を部内の建築、電気、機械等の各担当者と調整しながらまとめていきます。作成した図面をもとに工事が発注されますが、工事中は設計担当者として工事に携わります。関係者と調整を重ね、まとめ上げた図面の内容が出来上がってゆく過程を見ることが出来る、とても欲張りな仕事を担当しています。

やりがい・魅力 建築意匠担当は総合として設計業務全体をとりまとめることが多いです。そのため、多くの関係者との調整が必要となり大変なこともあります。それ以上に一人でなく、チームで協力しながらそれぞれの案件を進めていくことが出来ることに魅力を感じています。

メッセージ 私は、学生時代にインターンシップに参加し、入省することを決めました。決め手は実際に業務体験をする中でわからないことや難しいことがあったときに質問や相談をしやすく、周りの職員からも質問や相談がないか聞いてもらえる環境だったことです。そして、入省後もその環境に助けられています。実際に体験することで分かることもあると思いますので、気になる方は気軽にインターンシップや官庁訪問に参加してみてください。

営繕部の外で活躍するひとたち

仕事内容 中国地方5県・2政令市の交付金・補助金や各種調査のとりまとめを担当しています。具体的には、耐震化や省エネ化を行いたい公共事業、民間事業を県・政令市を通して調査し、国土交通本省を経て、適切な補助を行います。また、今後の政策に活かすために本省が実施する調査を受け、中国地方管内の状況を取りまとめています。

他にも建築基準法により国土交通大臣の承認が必要となる事案があった場合は内容の確認や承認の手続きも行います。

メッセージ 私は、営繕部で構造関係の業務に携わった後、建政部に異動しました。今は耐震関係の補助も担当しているため、営繕部で学んだことが役に立っていると感じます。営繕部では各課や営繕部外への異動もありますが、それも幅広い分野に携わり勉強する良い機会となります。また、一つ一つの経験が様々な場面で生きていくと思います。多くの経験ができることもこの職場の魅力なので、少しでも興味を持っていただけると嬉しいです。



原田 真弥 (令和2年入省)
建政部 都市・住宅整備課

電気職

仕事内容 国家機関の建築物である地方合同庁舎・税務署・ハローワーク等の電気設備に関する新築及び改修工事の工事監理を行っています。

電気設備の工事監理は、設計図書にある照明器具・空調機器及びポンプ類の電源制御・受変電設備・LAN・電話交換機等の機器や配管・配線が設計図面や仕様書に適合しているか、建築や機械設備と調整がとれているか、利用時の使い勝手がよいか、今後、保守や改修が行いやすいか等を入居庁、工事受注者、工事監理受注者、設計者と協議しながら行っています。

やりがい・魅力 電気設備は、電力から通信と設備の幅が広く、照明器具の選定やCO₂削減に考慮した照明制御や太陽光発電、通信インフラに対応した構内交換機的设计や監視カメラとセキュリティ機器との連携等を考え実現していくことのやりがいと魅力があります。



奥原 泰（昭和63年入省）
保全指導・監督室 営繕技術専門官
（現 河川部 河川工事課 課長補佐）



今川 碧（平成31年入省）
整備課
（現 保全指導・監督室）

仕事内容 整備課の電気設備担当として、電気設備（電力・通信※）の設計図面・計算書などの資料の審査や、工事に必要な費用を算定する積算業務を主に行っています。また現地に行き、新築や改修後に施設を利用する各省庁の施設管理担当職員と設計事務所を交えて打ち合わせ（建物の使い方や不便な点、機器の不具合などの聞き込み）を行い設計内容に反映していきます。

※電力：電灯（照明、コンセント）、受変電、発電（非常用、太陽光）等
通信：電話、時計、火災報知、セキュリティ機器（監視カメラや電子錠）等

メッセージ 私は電気職として採用されましたが、学生時代は建築・建築設備に関する知識を学んでおらず、不安な面もありました。しかし、上司や先輩方も営繕部に入ってから同じように知識を習得していったと聞いています。丁寧な指導やフォローがあり、仕事外でも気にかけてくださるとても優しく親切な方ばかりで不安も無くなりました。同じように電気職・機械職の方々が選択肢に悩んでいる方がいましたら、ぜひ営繕部をお勧めしたいと思います。

全国で活躍するひとたち

仕事内容 私は、中国地方整備局に採用され、広島を拠点としながら、現在は、北陸地方整備局で勤務しています。

北陸地整は新潟・富山・石川の3県を管轄しており、私は電気設備の設計審査や工事の積算業務を担当しています。業務には出張等も多く、改修対象の建物の現地調査や庁舎を管理する官署の職員に図面説明（改修内容の説明）などを行っています。今年度から設計や工事に直接携わることになり、分からないことも多いですが、先輩や上司の力を借りて日々頑張っています。

やりがい・魅力 中国地整では2年間計画課に所属しており、国の営繕事業の企画・立案、調整等を行っていました。

そのため、知らない土地で初めての業務を行うことをとても不安に思っていたのですが、北陸地整の同期や先輩、上司が温かく迎えてくださったおかげで、今ではのびのびと業務を行うことができています。これは、北陸地整の皆さんの人の良さはもちろんですが、私が転勤する前に中国地整の方々が同期や知り合いに一言声をかけてくださったおかげでもあります。地整は違っても官庁営繕というひとつの組織として繋がっていることを実感でき、これは大きな魅力であると感じました。

メッセージ 学生時代は北陸地方に住むなんて考えたこともなかったので若いうちにこのような経験ができたことはとても良かったと思っています。

また、他地整の同世代の方々と交流を持てたことは今後良い財産になると思っています。国という大規模な舞台で仕事をするやりがいを一緒に感じませんか？



河野 碧（令和2年入省）
北陸地方整備局 営繕部 整備課

休日はどう過ごしてる？

若手職員の交流が深く、よく遊びに出かけます。BBQやドライブ、スノーボードなど毎年の恒例行事があり、いつも楽しみにしています。

サッカーの練習や試合に行っています。職場のサッカーサークルもあり、他の部署の方とも交流できます。走るのが好きな職員の間とマラソン大会にでることもあります。

D&S（デザインアンドストーリー）列車のひとつであるSL人吉に乗って向かった熊本県の球磨川では人生初のラフティングを体験し、九州の大自然を感じました。

祝日と併せて有給休暇を取得し、国内旅行や海外旅行によく行っています。旅行先で魅力的な建築物を見学したり、自然に触れたり、美味しいご飯やスイーツを食べたり、充実した時間を過ごしています。



機械職

仕事内容 私は、空調・衛生・昇降機等を扱う機械設備を担当しており、仕事内容としては、主に2つあります。

1つ目は、建物を建てたり、修繕したりする工事の監督を行う監督業務です。中国地方管内のうち、岡山県と鳥取県にある国の建物について担当しています。建物の一例として、国の合同庁舎や税務署、公共職業安定所（ハローワーク）などがあります。

2つ目ですが、建物の機能を維持するため、各建物を管理している各省庁の機関に指導などを行う保全業務になります。関係法令等を基に指導を行いますが、適切な保全を行ってもらうための説明会なども開催しています。

私の所属している課は、営繕の仕事の中でも現地の担当者と接する機会が多く、実際に建物を利用されている方の意見を聞きやすい課だと思っています。

やりがい・魅力 入省してから設計・現場を経験し、設計したものが実際に施工され、形になるところを見てきました。そのような様子を日々感じられることが、営繕部の最大の魅力だと思いますし、施設を利用される方々に喜んでいただいたときはとても嬉しいです。

メッセージ 営繕部は建築分野だけでなく、機械設備分野も活躍できる職場です。建物を快適に利用するためには、エアコンやトイレなどは必要不可欠で、それらを担当しているのが、私たち機械設備担当になります。私も大学時代は機械工学を学んでいたため、営繕部で働くことに不安もありましたが、上司や先輩方のあたたかいフォローもあり、楽しく仕事できています。学んでいる分野に関係なく、建物に携わることができる職場ですので、ぜひ選択肢の一つとして考えてみてください。

代表的な1日のスケジュール

デスクワークの日	出張の日
8:20 出勤	8:20 出勤
8:30 始業	8:30 始業
メールチェック	メールチェック
資料作成	資料作成
12:00 昼食	10:00 打合せ等の準備
13:00 工事書類のチェック	11:00 工事現場へ出発
15:00 受注者とメールや電話で打合せ	12:00 昼食（出張先にて）
17:30 退庁	13:00 現場定例会議 （工事現場にて工事に関する打合せ）
	14:00 工事状況の確認
	16:30 庁舎へ帰庁
	打合せ内容の整理
	メールチェック
	17:30 退庁



竹田 享平（平成26年入省）
岡山営繕事務所 保全指導係長



営繕部の外で活躍するひとたち

仕事内容 営繕の仕事の1つに「土木営繕」という分野があります。「土木営繕」では、土木事業に関わる建物を扱っており、馴染みのある建物ですと道の駅の中の国が管轄する情報施設やトイレがあります。その他、道路や河川の開通事業に必要なトンネル電気室や排水機場、公務員宿舎や事務所、除雪基地から公園のトイレ、担当する建物は多岐にわたります。私は土木営繕の機械設備担当として、トイレや空調など建物の機械設備分野に関する新築・改修の設計業務及び工事監督業務に携わっています。

やりがい・魅力 河川工事課では設計と工事監督を同じ課で行うため、一つの建物に対し最初から最後まで関わることができます。また、業務内容も営繕部では経験できない建物に関わることが魅力だと感じます。

メッセージ 建物となると機械職は想像がしづらい分野になると思います。しかし、官庁営繕でも土木営繕でも機械職は業務に欠かせない職業です。「国交省」というと土木事業のイメージが強いと思いますが、土木事業とは少し違った視点から国の事業に関わることができるので、建物や国の事業に少しでも興味があれば、ぜひ一緒に働きましょう。



森重 祐太（平成29年入省）
河川部 河川工事課

防災・減災



下関地方合同庁舎(山口県、耐震ブレースの設置)

官庁施設は、来訪者等の安全を確保するとともに、大規模地震発生時に災害応急対策活動の拠点として機能を十分発揮できるよう、総合的な耐震安全性を確保する必要があります。

また、近年頻発している風水害に備えるため、災害応急対策活動拠点施設の電力の確保（浸水対策）も必要です。

国土交通省では、大規模災害の発生に備え、防災拠点となる官庁施設の整備を推進し、災害に強い地域づくりを支援しています。

中国地方整備局管内では、令和3年度末時点での耐震化率は97%であり、引き続き耐震化に努めています。

環境対策と木材利用の推進



境税関支署(鳥取県、内装の木質化)

国土交通省では、ライフサイクルを通じた環境負荷の低減を目指し、我が国の建築分野における環境対策の模範となる環境負荷低減に配慮した施設整備を推進しています。主な環境技術として、複層ガラス、太陽光発電、LED照明器具などを採用しています。

また、令和3年に施行された「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、公共建築物の木造化や、内装等の木質化を推奨しています。

様々な耐震技術 -免震レトロフィット-

中国地方整備局では管内の官庁施設の耐震化に努めています。主な耐震改修工法としては、現場打ちコンクリート壁の増設、鉄骨ブレースの設置、柱補強等があります。

広島合同庁舎1号館と2号館では、庁舎を使いながら耐震改修工事を行うため、改修中及び改修後の執務環境等に与える影響が少ない免震レトロフィットを採用しました。地下1階の柱頭に免震装置を組み込み、必要となる耐震性能を確保しています。



広島合同庁舎1号館

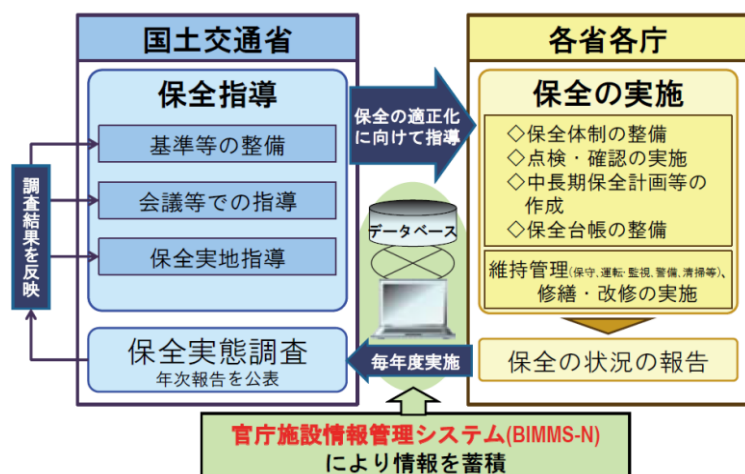


免震装置(積層ゴム)



オイルダンパー

保全と長寿命化



※「保全」とは、建築物が完成してから取り壊されるまでの間、安全性や執務環境等の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けることをいいます。

国土交通省では、「官庁施設情報管理システム」を導入し、インターネットを通じて、全ての官庁施設の基本的な保全※情報等を把握・分析しています。

中国地方整備局では、このシステムを利用して、保全の状況の改善が必要な施設に対する保全指導を行うとともに、各省各庁による保全に対して、実施方法や内容に係る技術的な指導や支援を行っています。

また、老朽化の進行を防ぐ長寿命化事業（ハード対策）や、効果的・効率的に機能維持するための保全指導（ソフト対策）を実施することにより、官庁施設の戦略的な維持管理・更新に努めています。

地域との連携



松江地方合同庁舎(島根県、市民ワークショップの様子)

官庁施設は都市の中核施設であり、地域の交流拠点となる場合もあります。国土交通省では、地方公共団体をはじめとする様々な関係者と連携し、まちづくりに貢献するような官庁施設の整備を推進しています。

松江地方合同庁舎の整備においては、「地域住民に愛され親しまれる施設整備のあり方」を探る試みとして、設計段階に市民ワークショップを4回開催しました。市民の方々から出された多くの意見や提言を設計に反映するなど、市民参加型の施設整備を行っています。

公共建築の日と公共建築月間

公共建築の果たす役割を一般の方々に広く知っていただくため、国土交通省は、11月11日を「公共建築の日」、また、11月を「公共建築月間」として地方公共団体等と協力してイベントを実施しています。

平成28年度からは、広島県・広島市などと連携し、広島の魅力的な公共建築物のうち、特に通常立ち入ることができない部分などを一斉に公開する「公共建築の一斉公開」イベントを行っています。公共建築を直接体験することで、親しみや理解を深めていただくことを目指しています。



働き方改革

・ 週休2日の推進

建設工事従事者の週休2日の確保に向けて、国土交通省では、営繕工事において、現場閉所を含む週休2日工事のモニタリングを実施し、その阻害要因の把握とその改善方策等の検討を進めています。

・ 生産性向上への取り組み

国土交通省では、営繕工事において調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新に至る各段階において受発注者の連携を通じて、建設生産プロセス全体における生産性向上を推進しています。

中国地方整備局では、施工者提案での施工合理化技術の採用を行い、施工BIM（※1）、情報共有システム、デジタルサイネージ（※2）、電子白板（※3）等の各種施工合理化技術を実施しています。

※1 施工段階にBIMモデルという、コンピュータ上に作成した3次元の形状情報と材料の仕様等、建物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを活用すること。

※2 表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクタなどによって映像や文字を表示する情報媒体。

※3 パソコンの画像を大画面に映し出し、その画面上で直接操作したり、書き込んだりすることができる機器。

広島合同庁舎2号館耐震改修工事における実施例

広島合同庁舎2号館耐震改修工事では、様々な施工合理化技術を活用しました。

- ・ 施工BIM
- ・ デジタルサイネージ

- ・ 情報共有システム
- ・ 電子小黑板

- ・ 電子白板
- ・ 360度パノラマカメラ



施工BIM
配管と壁の干渉チェック



電子小黑板
工事情報を記載した黒板を電子化し、工事写真撮影作業を省力化。



電子白板
説明会や打合せなどの効率化



デジタルサイネージ
工事現場指示や庁舎利用者・周辺住民などに向けた週間工事予定表を電子化し、モニターを活用して効率的に情報を表示。



採用されるには

- (1) 国家公務員採用試験（一般職）を受ける
令和5年度のスケジュールの場合（大卒程度試験）
申込み（インターネット）：3月1日（水）～3月20日（月）
第1次試験（筆記）：6月11日（日）
第1次試験合格発表：7月5日（水）
第2次試験（人物）：7月12日（水）～7月28日（金）（第1次試験合格通知書で指定）
最終合格者発表：8月15日（火）
※人事院ホームページ等で最新の情報を確認してください。
- (2) 業務説明会への参加や官庁訪問を行う
試験に合格するだけでは、国家公務員になれません。採用のための重要なステップとして、第1次試験以後の「個別業務説明会」や、第1次試験合格発表以後の「官庁訪問」があります。業務内容についてより詳しく知ることができるとともに自己PRの重要な機会ですので、必ず参加するようにしてください。
※中国地方整備局ホームページ等で最新の情報を確認してください。
- (3) 中国地方整備局の採用面接を受ける
最終合格発表以降に、採用のための面接を実施します。面接後に中国地方整備局への採用の可否が決まります。

勤務条件

- 初任給
大卒程度試験合格者で広島市内勤務の場合 185,200円～（令和4年4月時点）
このほか、地域手当、通勤手当、扶養手当、住居手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当（ボーナス）などが支給されます。
- 勤務時間
整備局本局 9：15～18：00（7時間45分）
岡山営繕事務所 8：30～17：15（"）
※フレックスタイム制度もあります。
- 勤務地
営繕職員となった場合は、整備局本局（広島市）を拠点に、岡山営繕事務所（岡山市）や、他の地方整備局などに勤務することもあります。

研修・OJT

中国地方整備局営繕部では、特に若手職員の技術力強化を図るため、多くの研修の機会を提供するとともに、OJT（On-the-Job Training：職場内の実務を通じての教育訓練）に力を入れています。

研修の種類	時期・機関	場所	内容
新規採用職員研修	採用直後の15日間程度	中国技術事務所（広島市安芸区）	国家公務員としての心構え、国土交通行政の基礎知識の習得
初級課程営繕科研修	採用年の6～7月頃の7日間程度	国土交通大学校（東京都小平市）	営繕業務の基礎知識の習得
建築実務研修	2年目以降の係員、随時、4～5日間程度	関東、九州等	営繕業務の実務能力の養成
専門課程研修	主に係長、随時、11～18日間程度	国土交通大学校（東京都小平市）	建築計画、設備計画、工事監理、保全、まちづくりなどテーマ毎に専門知識を習得

国・県・市の若手営繕職員合同勉強会

中国地方整備局では、広島県及び広島市の若手営繕職員に声をかけ、合同勉強会を開催しています。この勉強会により、効果的かつ効率的に技術力の向上を図るとともに、組織を超えた枠組みで公共建築を俯瞰することで視野を広げ、交流を深めることで、連携して公共建築を優れたものとしていくための土壌を育むことを目指します。





国土を整え 全力で備える



国土交通省 中国地方整備局 営繕部

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

所在地：広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館8階
電 話：082-221-9231（内線5151）
U R L：https://www.cgr.mlit.go.jp/



営繕部についてより詳しく知りたい方へ

国土交通省 官庁営繕部 ホームページ

<https://www.mlit.go.jp/gobuild/>

中国地方整備局 営繕部 ホームページ

<https://www.cgr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

中国地方整備局 岡山営繕事務所 ホームページ

<https://www.cgr.mlit.go.jp/okaiei/>

中国地方整備局 営繕部 Facebook

<https://www.facebook.com/cgr.eizen87/>

中国地方整備局 入省案内

<https://www.cgr.mlit.go.jp/profile/recruit/index.html>



中国地方整備局営繕部 Facebook

令和5年2月版